



2024年 11月 7日

各 位

会 社 名 株式会社INFORICH

代表者名 代表取締役社長兼執行役員CEO 秋山 広宣

(東証グロース市場、コード：9338)

問合せ先 取締役兼執行役員CFO 橋本 祐樹

メール：ir@inforichjapan.com

新たな事業の開始についてのお知らせ「CheerSPOT」のリリースについて

当社は、2024年11月7日の取締役会において、下記の通り、新たな事業を開始することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社は「Bridging Beyond Borders -垣根を越えて、世界をつなぐ-」というミッションのもと、海外発のビジネスモデルを日本に、そして、日本の技術力を海外に展開することを目指しております。現在はモバイルバッテリーシェアリングサービス「ChargeSPOT®」を日本/香港/中国（一部フランチャイズ）/台湾で自社運営し、オーストラリアではEzycharge社を買収して運営、タイ/シンガポール/マカオではフランチャイズ展開を行っています。

2023年8月に発表した「VISION2030」では国内と海外でのChargeSPOTの展開に加え、新たな収益機会の発掘のため、プラットフォームサービスの展開を目指すことを表明しました。2030年の連結EBITDA150億円をターゲットとし、そのうちの20億円をプラットフォーム事業によるものと設定しています。プラットフォーム事業にはChargeSPOTのバッテリースタンドに付帯するサイネージを活用した広告販売を含む、マーケティングソリューションが含まれます。2024年12月期 第2四半期会計期間では広告販売の売上は国内外で約1,200万円程度に留まっていますが、現在進めているSSP・DSPの開発と外部

DSPへの接続によって広告配信の効率化を実現することで、今後の広告販売を最大化できる見込みです。広告配信の効率化に続く新たな施策として「CheerSPOT」を開始し、「VISION2030」の実現を目指してまいります。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

「CheerSPOT」は当社が新たに提供する、ファンとアーティストをつなぐ循環型プラットフォームです。当社が今まで行ってきた「MusicCharge^{※1}」やサイネージを活用したスタンプラリー、オーディションの入賞者などに対する広告枠の提供など、様々な「応援（Cheer）」に関連するサービスを包括します。「CheerSPOT」の新たな機能として、個人がアーティストなどへの応援を目的としたメッセージを発信できるサービスを開始します。

近年、アーティストやタレントを他者に紹介することを目的とした、個人による「応援メッセージの出稿」が注目を集めています。特に、アイドルの誕生日やデビュー日などの記念日にファンがメッセージを広告面に出すことは、若い世代にとっては身近な応援方法になっています。この形は韓国発祥で、日本では2019年頃から徐々に注目を集めています。日本においては約300億円規模の市場であると複数社によって試算されており、国内外で成長が期待されている新たな市場です。しかし、公共空間に応援メッセージを掲示するためには数万円から数十万円の費用がかかることが多く、個人で出すには負担が大きいものになっています。また、当該アイドルや芸能事務所の許可を得ていないことが大半です。

当社は、「ChargeSPOT」のバッテリースタンドを国内約44,200台、海外を含めると60,000台以上保有しており、今回のサービス開始によって応援メッセージを出稿することができるメディアとしては国内最大規模の面数^{※2}になります。料金設定は最低料金が1台への放映で420円（税抜）からと、多くの方にご利用いただきやすい価格設定にし、ユーザーの獲得及び市場の拡大をはかってまいります。また、他社のDSPへの接続後は「ChargeSPOT」のサイネージ画面以外に、街頭テレビジョンやエレベーター内のサイネージなどへの放映も可能になる見込みです^{※3}。

「CheerSPOT」の開始に際し、当社は、複数の芸能事務所とパートナーシップを締結いたします。このことにより、所属事務所が公式に認めた形で、公式に提供された素材を使用して応援メッセージを出稿できる仕組みを構築します。その際、当社からアーティストや芸能事務所に対してレベニューシェアを分配するため、サイネージでの応援メッセージがアーティストへの支援にも繋がる循環型の応援になります。

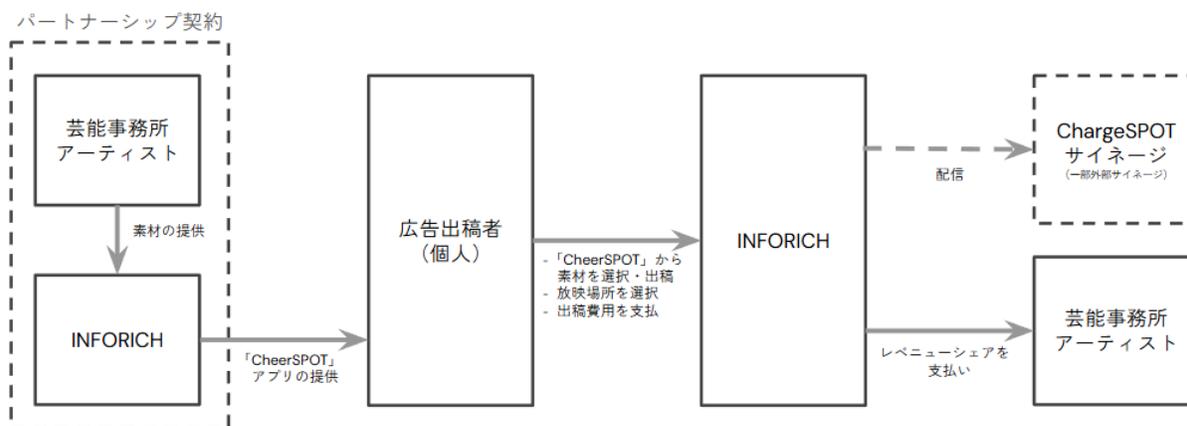
※ 1 Music Chargeは、2023年9月に実施した、ChargeSPOTをレンタルするとアーティストの新曲を先行試聴できるサービス。

詳細： (<https://chargespot.jp/article/3710/>)

※ 2 自社調べ

※ 3 2025年春頃を予定

【参考：ビジネスモデル】



(2) 当該事業を担当する部門

New Business Development

(3) 当該事業開始のために特別に支出する金額および内容

当該事業の開始にあたり、特別な費用の支出は見込んでおりません。一方で、芸能事務所とのパートナーシップを締結するにあたって費用等がかかる可能性があります。具体的な金額については現時点では未定です。今後開示の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

3. 今後の見通し

今期の業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、今後事業の大幅な状況変化によって財務的影響が生じる場合には、明らかになった時点で速やかに開示いたします。

また、来期の業績に与える影響については、来期業績予想の発表に織り込んで開示する予定です。

以上

(参考) 当期連結業績予想 (2024年2月14日公表分) 及び前期連結実績

単位：百万円	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
当期連結業績予想 (2024年12月期)	10,011	1,635	1,515	1,514
前期連結実績 (2023年12月期)	7,681	603	633	571